

写真でたどる大塚商会

社 屋



本社

キャッチフレーズ

1961 年～

「複写機の大塚商会」



1969 年～

「複写機・計算機の大塚商会」



水道橋本社

1975 年～

「複写機・電算機の大塚商会」



1978 年～

「COFの大塚商会」



COFとは、コピー、オフコン、ファクシミリ of の頭文字を組み合わせたもの。当時からオフィスのトータルソリューション提案を行っていた

1981 年～

「OAの大塚商会」



2009 年～

「ITでオフィスを元気にする」



2009年の実践ソリューションフェアのテーマ。以来、大塚商会のタグラインとして使用している



2010年2月、新宿大ガード横のビル屋上に設置

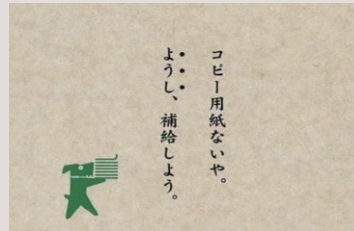
2021 年～

「あなたのための、DXでありたい。」



多様化していく働き方をサポートするパートナーとしての存在をアピール

広告・宣伝



2002年から続く「たのめー」だじゃれCM



2006年から放映。オフィスのお困り事を解決するソリューションを訴求



2021年から放映。さまざまな働き方のシーンで活用できるDXを訴求



2000年7月14日付「日本経済新聞」に掲載された上場を報告する広告



2019年、JR中央・総武各駅停車の広告貸切車体広告

働き方改革で
テレワークの導入を
お考えなら、
お気軽に大塚商会へ。
手軽に、速やかに、
今からでも始められます。

テレワークのことなら、
大塚商会へ。

つなぐ！
社員の自宅から、
社内のシステムに
アクセスできる
ようになります。

話す！
社員一人一人の、
スマートフォンが
内線電話にも
なります。

守る！
テレワークに不可欠な、
モバイル向け
セキュリティサービス
があります。

さらに、
これまでも同じように、
社員の勤務状況を
記録・管理
できます。

大塚商会が、テレワークの導入をお手伝いいたします。

テレワークに関するご相談は、大塚商会の特設サイトから。
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/products/lp/mns/telework/>

0120-579-215

2020年3月6日付「日本経済新聞」に掲載されたテレワーク導入を訴求する広告



(上)日経BP総研と共同運営するWebメディア



(右)大塚商会が冠スポンサーのTV番組



2017年4月から大塚商会が提供しているミニ番組

実践ソリューションフェア



2022年：リアルとオンラインのハイブリッド開催。お客様に寄り添ったDXソリューションを提案



2021年：コロナ禍のためオンラインを中心に開催。リアル会場では5つのオフィスシーンを具現化し、それぞれのシーンにおける課題を解決しオフィスのDXを実現するソリューションを展示



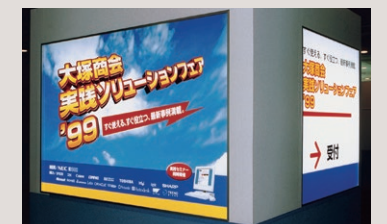
2018年：「ITで始まる。おしごと、まるごとグレードアップ。」をテーマに、企業の「働き方改革」を後押し



2015年：この年から「まるごと」を訴求。最先端のICT製品と各種サービス&サポートを組み合わせた最新ソリューションを提案



2011年：この年から会場をザ・プリンス パークタワー東京に移して開催。会場内での説明はモバイル端末を活用して行なった



1999年：現在も続く「実践ソリューションフェア」に改称。開催期間を絞り、各コーナーの展示を充実させた

1995年～ 実践ネオダムフェア



90年代のコンピュータ業界の潮流を表現した「ネオダム」を販売戦略のキャッチフレーズとし、フェア名称に掛けて開催

1982年～ 実践OAフェア



OA市場が大きく躍進するのにあわせて、「実践OAフェア」に改称。品川のホテルパシフィック東京で開催

1978年～ ビジネスシステムフェア



初の総合フェアを東京プリンスホテルで開催。「COFの大塚商会」のお披露目になった。2月開催は初回開催から変わらない

関連施設



横浜物流センター（開設：2021年10月）
国内最大規模のロボットストレージシステム「オートストア」など、大幅な省人化を実現する多様な設備を導入した



東日本物流センター（開設：2014年9月）
「たのめーる」配送に加え、IT機器関連商材のハブ機能を備えたマザーセンター



西日本物流センター（開設：2016年8月）
西日本の「たのめーる」配送の拠点



高島平物流センター（開設：2010年9月）
最新のピッキング機能を搭載。免震構造のほかいち早く全館LED照明を使用した

コンタクトセンター



たよれーるコンタクトセンター：お客様環境で生じた問題を、電話およびWebのワンストップ体制で、迅速で確実な問題解決にあたる

その他の施設



東京CTOセンター：各種のハードウェア・ソフトウェアをお客様仕様にカスタマイズして提供



ODTセンター：国内最大級のPCデータ消去施設として、2006年に開設

リサイクルセンター



リサイクルセンター：資源の有効活用とコンプライアンス遵守を目的として東京都と大阪府で稼働中

スクール



スクール会場：αラーニングセンターを全国15箇所で展開。多彩な研修コースや人材育成支援サービスを提供している

リニューアルオフィス

横浜・横浜南支店（2019年12月リニューアル）コミュニケーションを最重視したオフィス空間を実現



川崎支店（2022年1月リニューアル）遮るものない広々とした空間に、組み合わせ自由な可動式デスクを配置



台東・田端・亀戸支店（2019年12月リニューアル）働き方改革の解決策として提案する新オフィス



北九州営業所（2019年11月リニューアル）新装オフィスをショールームとしてお客様に公開

60周年記念事業

たのくんの森



2011年の50周年記念事業としてブラジル・アマパ州マカパで海外植林事業を開始。成長したユーカリを原料としたコピー用紙「αエコペーパー〈たのくんの森〉(FSC認証紙)」の売上の一部を社会貢献団体に寄付



ビズボヤージュ

時代の「一歩先」を見据え、新しいビジネスのヒントを提供する情報サイトを開始



お客様に寄り添って



寄贈

最新技術を活用した災害対策設備を自治体に寄贈



LPガス非常用発電機を寄贈



自律分散型水循環システム・シャワー設備を寄贈

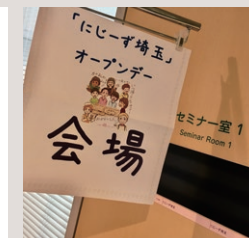


WWFジャパンの気候変動全般にかかわる活動に対し、1千万円を寄付し、活動を支援

社会貢献活動

ハートフル基金

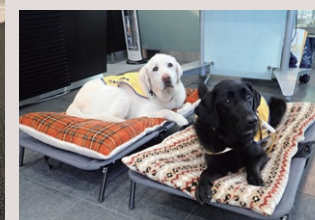
2003年にスタートした社員有志による毎月100円の出資に、会社からの寄付を上乗せして運用しているマッチングギフト。災害被災地支援と公益性のある活動をしているNPO団体を支援



ハートフル基金支援先「にじず」では、LGBTの若者たちが悩みを共有する交流会を開催

心のバリアフリー推進活動

2020年1月より、公益財団法人日本補助犬協会との協働で実施、補助犬「ケイ君」を特別社員「心のバリアフリー大使」に任命。共生社会の実現に向けて活動を行っている



リユースPC寄贈プログラム

大塚商会が発足人となりIT関連大手の賛同企業と共同で、認定NPO法人イーパーツを設立。使用しなくなったPCを整備してNPO団体に寄贈



たのくんからの贈り物

オフィスサプライ通販事業「たのめーる」で発生した戻入品をNPO団体に寄贈

その他活動



大山千枚田：千葉県鴨川市にある棚田の保全活動として行なっている米作り



献血：日本赤十字社の協力で、大塚商会の主要拠点で定期的に献血活動を実施



フードバンク支援：2016年から「たのめーる」で取り扱っている食品・飲料のうち、賞味期限が近くなりお客様に販売ができなくなったものをフードバンクに寄贈し、有効活用

直営ホテル

ホテルニューさがみや

静岡県伊豆山海岸

1985年2月オープン

熱海の奥座敷伊豆山の源泉を引き込んだ大浴場と露天風呂。
全室相模湾に臨む、懐石料理とおもてなしのホテル



千葉県南九十九里浜

1988年9月オープン

九十九里浜南端、一宮海岸に臨む滞在型のリゾートホテル。
各種スポーツ施設、会議場などを備え、社員研修にも最適



ホテル琵琶レイクオーツカ

滋賀県琵琶湖畔

1987年9月オープン

琵琶湖の西岸、白砂青松の美しい近江舞子の湖畔に立地。
全室琵琶湖に臨み京都駅から30分、京都観光に最適な宿



三重県南鳥羽海岸

1991年3月オープン

伊勢・志摩観光の中心鳥羽、海に突き出した岬に立つ宿。
海を臨む絶景の温泉、近海で採れる新鮮な海鮮料理が自慢



創業者 大塚実 大塚商会 社葬・偲ぶ会

2019年9月7日、大塚商会の創業者である大塚実相談役名誉会長が逝去されました（享年96）。
大塚商会では10月29日に社葬（於：築地本願寺）、
12月2日に偲ぶ会（於：帝国ホテル）を執り行ない、多くの方にご参列いただきました。



代表取締役社長 大塚裕司

